

## 【南アルプス市】 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

南アルプス市総合計画では、「人がつどい 次世代につなぐ活力あふれるまち 南アルプス ～自然と暮らしが調和した幸せ共感都市～」を実現するために、7本の施策（大）と33本の施策（中）を設定し、そのひとつに「地域で学び、地域に活かすまち」を挙げている。また学校教育に関する施策としては、「学校教育の充実」に注力し、“主体的・対話的で深い学び”の実現を目指していく。

児童生徒がICTを1つのツールとして自発的に活用できる能力の定着を図るため、学校教育現場でICT機器を用いた情報収集や、デジタル教材を使用した自発的学習、学習者間で意見の共有や情報伝達・プレゼンテーションを実施する等、ICTを活用した個別最適な学びと、協働的な学びに取り組んでいく。

### 2. GIGA第1期の総括

インフラ面では、南アルプス市は令和2年度に学習系無線LANの導入、1人1台端末の整備、およびデジタル教材、情報共有アプリの導入が完了し、GIGAスクール構想にかかるICT活用が始まった。また、持ち帰り学習の実施により児童生徒の個別最適な学びへの対応として、学習状況に合った自主学習への取組による効果が見られた。

また、教職員の方々の創意工夫によりデジタル教科書を用いた授業や、デジタル教材やプレゼンテーションソフトを活用した個別最適な学び・協働的な学びの提供を実施し、ICTの利活用が定着している。

導入後に一時的に通信速度の問題が顕著化したが、令和3～4年度にインターネット回線の増強を実施し、通信の安定性が向上された。また、GIGA系ネットワーク環境の整備（回線増強、チューニング等）による改善、およびICT活用の推進（デジタル教科書等）に伴う定期的なネットワークアセスメントの実施により、通信状況の評価やリスク対策への取り組みを継続している。さらに、将来的なゼロトラスト移行に向けた最適化計画を策定中である。

課題としては、学校及び教職員のICT活用や技術の差が生じている。また、日々での情報を取り扱うにあたり情報セキュリティ対策に係る理解や対策への取組が挙げられる。ICTは活用する上で教職員全員が必要となるICTリテラシー、知識や技術の定着を図るため、積極的な情報共有や自発的に情報収集する意識改善に取り組む必要がある。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末環境を引き続き維持の上、以下の利活用を推進する。

#### 1. 1人1台端末の積極的活用

研修や市内の情報担当教職員内での情報共有の場を作っていくことで、各学校の端末活用に関する課題を解決し、どの学校においても積極的に端末を活用できる環境を作る。

#### 2. 個別最適・協働的な学びの充実

デジタル教材を用いた学習を定着させ、回答結果から自身の傾向や対策を自身で知り、自ら自発的に学習を進めていける環境を構築し、児童生徒の主体性向上を図る。

また、情報共有ツールを用いて学習者同士の意見交換、プレゼンテーションツールを用いた情報伝達に活用することで、社会性、協調性、プレゼンテーション能力の向上を図る。

活用事例の積極的な共有・蓄積のほか、教育ダッシュボードを活用しながら視覚的な現状把握に努め、個別最適化を図る。

#### 3. 学びの保障

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施する。

また、ICT機器の通訳・翻訳機能等を活用し、日本語に慣れない児童生徒も学習・生活を支えるツールとして活用する。

これらの方策を実施していくために、これまでと同様に端末の整備・更新を行い、児童生徒1人1台端末の環境を引き続き維持する。